

③新たな作目や品種の特徴を活かした需要拡大

## 豊川産千両さつま芋とヘアリーベッチの蜂蜜を活用したクリーム等の製造・販売事業

甘みの強い千両さつま芋とフルーティーなヘアリーベッチ蜂蜜の素材を活かしたクリーム等の製造・販路拡大を行う。

### ➤ 連携体

**農林漁業者** 古川悦弘、中田養蜂(以上、農業)

古川悦弘は農薬不使用での千両さつま芋の栽培に取り組む。また、中田養蜂はヘアリーベッチの花の採蜜に取り組む。

**中小企業者** (有)さんぽ道(小売業)

千両さつま芋の甘み、食感とヘアリーベッチの甘さを融合したクリームの製造、販売に取り組む。

**連携参加者** 千両会(農業)、(有)千総(食料品製造業)

古川悦弘の指導により千両さつま芋の栽培を行う。長年の加工技術を活かし、クリームの瓶詰を行う。

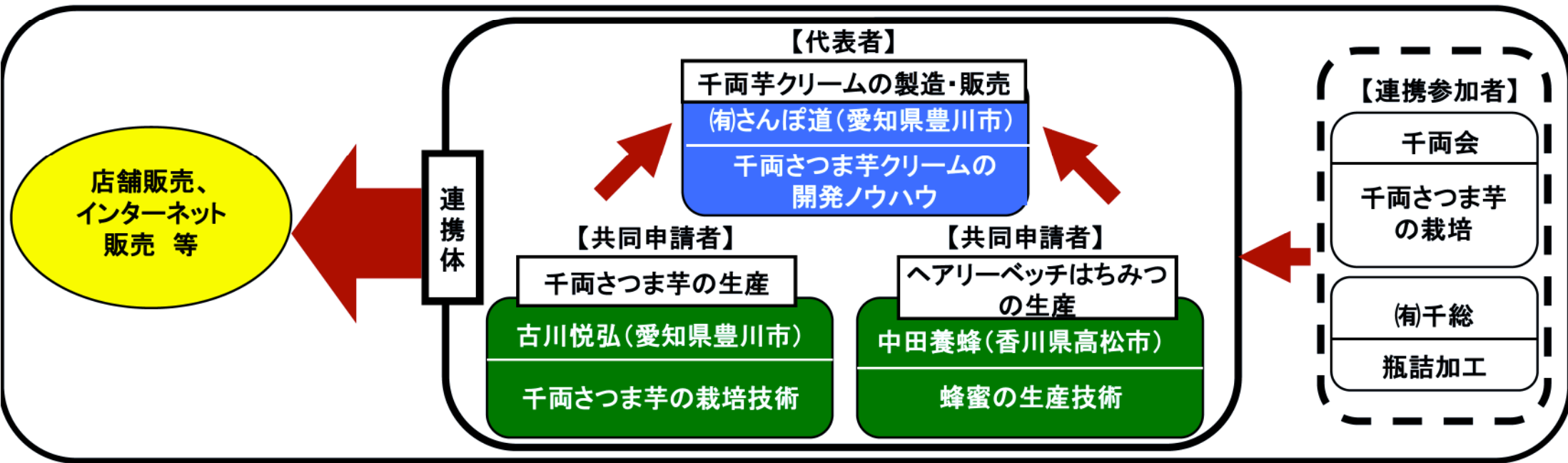
**サポート機関等** 豊川信用金庫、(独)中小企業基盤整備機構中部支部

### ➤ 連携の経緯

豊川市ではちみつ販売専門店を運営する(有)さんぽ道は、東三河地域の農産物を活用した商品開発を行っていたところ、地元の千両地区で採れる千両さつま芋に着目。地元で畜産を営む古川悦弘は、農薬不使用で千両さつま芋の栽培を、中田養蜂が、ヘアリーベッチの花だけから蜂蜜を生産することで連携し、千両さつま芋はちみつクリームを製造・販売することになった。

### ➤ 連携に当たっての課題や工夫等

古川悦弘は、休耕地を開拓し鶏の卵の殻・もみ殻・牛糞を独自混合した有機肥料を使い良質な千両さつま芋を栽培。中田養蜂は、他の花の満開期を避けて採蜜するなどヘアリーベッチの単花の採蜜を実現。(有)さんぽ道は、千両さつま芋とヘアリーベッチの蜂蜜を融合させたクリーム等の企画・製造・販売を行い売上拡大を図る。



### ➤ 連携による効果

**農林漁業者** 5年で600万円の売上高増加による収益力の向上、作付面積の拡大

千両さつま芋、ヘアリーベッチはちみつの新たな需要開拓により売上高増加と収益力の向上が確保される。また、作付面積の拡大により休耕地の解消が促進される。

**中小企業者** 5年で3,590万円の売上高増加、新たな地域ブランドの構築

これまで自家消費が主流であった千両さつま芋の新たな需要開拓により、地域農作物を活用した新たな地域ブランドの構築が期待される。

### ➤ 代表企業等の連絡先

企業等名：有限会社さんぽ道  
 T E L : 0533-93-7422  
 E - m a i l : sanpomichi.830@gmail.com

所在地：愛知県豊川市豊津町釜ノ口64番地1  
 F A X : 0533-93-7423  
 ホームページ: